

17周年記念増大

# FOCUS

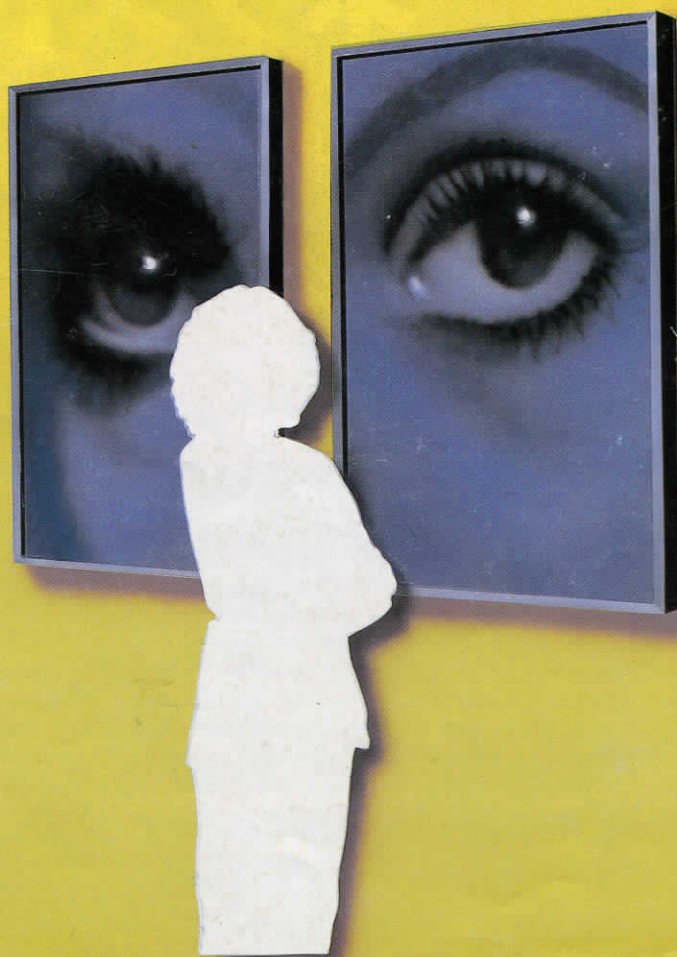
## フォーカス ワイド **不適切な関係**

浅野ゆう子「結婚相手」は名家出のグアムの種馬 不倫「畑恵」  
で落選確実「船田元」幻の離婚届 夫・三田村<sup>邦彦</sup>と泥沼でも「中  
山麻理」三男運動会の奇抜ファッション “激震”防衛庁「汚職  
捜査」で浮かんだ代議士の名 5000万円生命保険を残した「大  
西結花」社長失踪の怪 民主党「菅・鳩」の関係は「長くて半年」  
の証明 妻と別居「GLAY」TERUの気になるお受験他

10月21日号  
17周年記念増大

特別  
定価 **270円**

## 流産「砒素カレー妻」が手玉に取った「愛人」たち



## FOODS WIDE 不適切な関係

	浅野ゆう子「結婚相手？」は名家出のグアムの「種馬」、 不倫「畑恵」で落選確実「船田元」幻の離婚届	4 6
	夫・三田村邦彦と泥沼でも「中山麻理」三男運動会の奇抜ファッション "激震"防衛庁「汚職捜査」で浮かんだ代議士の名	8 10
	広末涼子におせっかい。「ムカツクんだよー」と本人。	12
	読売社長も屈伏させた続投「長嶋巨人」三つの火種	14
	5000万円の生命保険を残した「大西結花」社長失踪の怪	16
	生命エネルギーを説く江本孟紀「神懸かりの真相」	20
	民主党「菅・鳩山」のカンケイは「長くて半年」の証明	22
	恐怖政権「トルシエ新代表監督」と山本コーチの不安な先行き 妻と別居「GLAY」TERUの気になる「お受験」	24 26
<i>irony</i>	売春を合法化して、税金を取れ! —ロシア極右ジリノフスキー党首の妄言と「乱行」疑惑	32
<i>experiment</i>	192メートルのビルからバンジ〜! —記録男のリスクとリターン	34
<i>for sale</i>	<b>アフリカを突っ走る「豪華・快適」鉄道の旅</b>	38
<i>café</i>	太腿あらわ「N.キッドマン」がひよっとして—どうするトム・クルーズ!?	48
<i>tradition</i>	現代の「山伏」熊野で真夜中の秘密儀式—女性も多数参加17年ぶりの「深仙灌頂」とは	50
<i>challenge</i>	父へ、婚約者へ、泳げや泳げ—31歳フランス男性、72日間大西洋横断遠泳レポート	54
<i>nature</i>	湧流探検—米代川② 穏やかな川面に映る秋田杉全盛期の「遺産」	56
<i>darling</i>	ダンナ様の好みでこうなった、正体不明の軍団だい! 一番大事な家族⑩ 作家・演出家、久世光彦の「無為徒食、だからいい」犬。	59 60
<i>future</i>	連載⑩ フォーカス 悪口をいわれて「大物」福嶋晃子の辛抱の仕方	63
<b>Sport</b>	出場するのが怖いほどそれが日本シリーズ—テーブ大久保	64
<b>Gamble</b>	オッズで見抜け豪州「替え玉」競馬—高橋三千綱	64
<i>channel</i>	「LOVE LOVEあいしてる」vs.「光子の窓」 今週のオススメ 10.14▶10.20	66
<b>EROTICA</b>	「Hカップ美乳」の新人ヘルス嬢が憂鬱な理由	68
<b>GOODS</b>	航空業界を活性化させるスチュワーデスグッズ	68
<b>HEALTH</b>	無料でリラックスできる「快眠スタジオ」	69
	男による男のための男の悪口⑩ 蕎麦屋の色紙で「画伯」になった「片岡鶴太郎」	72
	女による女のための女の悪口⑩ 「景子夫人」が作り続ける安いロマンス小説	73
<i>animal</i>	へいせい動物記⑩ 鍛えられた「ミニブタ」選手の障害物競走	74
<i>hero</i>	38年ぶり優勝! 横浜ナイン「その夜の乱痴気」—次は日本シリーズで?	76
<b>TARGET</b>	<b>流産「砒素カレー妻」が手玉に取った「愛人」たち</b>	78
<i>FOODS</i>	連載⑩ フォト日記 絶好調節健在「中畑清」のGマークに感謝	82
<i>parody</i>	狂告の時代 847 マッド・アマノ	86

# 現代の「山伏」熊野で真夜中の秘密儀式

女性も多数参加17年ぶりの「深仙灌頂」とは

京都の「聖護院」と聞くと、凡俗はお菓子の八ツ橋やかぶらを思い浮かべるが、歴史をひもとけば、平安後期、白河上皇の熊野詣に際して案内をつとめた高僧・増誉の創建。熊野の山伏を取りまとめたきた伝統があり、現在も山伏たちの「本山」だ。歌舞伎「勧進帳」でお馴染みの「兜巾」という頭巾を付け、鈴懸の衣をまとった姿で、大峰山(紀伊山地中央の山々)を駆け巡る修行を今に伝えるのである。その聖護院が主宰する数ある修験の儀式

の中でも、これは最高の秘儀という。午前3時、灯り一つない熊野の山中。9月初めながら、肌寒さを感じる深山の夜気を一掃する大きな炎が上がった。秘儀の無事終了を祝って大護摩が焚かれたのだ。女性も含め約100人の「受法者」たちは、徹夜の疲れもものは、感激の面持ち。先ほど、部外者立ち入り禁止の天幕の中で、修験道の即身即仏の極意を授かったばかりなのだ。この「深仙灌頂」は、1300年前、「役行者」が箕面山中

で竜樹菩薩から授かった大法を、弟子から弟子へと伝えてきたもので、舉行されるのは17年ぶり。役行者からの信仰の血脈に連なることとなり、山伏の身には、有難さもひとしおというところか。今回、22名の参加者(うち女性77名)は、2組に分かれてバスで聖護院を出発。三重県熊野市から大峰山中に入り、釈迦ヶ岳東南の「前鬼」という修行場を目指した。参加資格は、俗人の信徒なら「大先達」以上、得度を受けた僧なら「権律

「香精水」を汲んでくる

秘儀の無事終了を祝う大護摩

目隠しされ灌頂道場に向かう



師」以上。どちらも、大峰山や葛城山に何度も登って教団が定める条件をクリアした人々である。女性は祈禱師や大学生など、内訳は様々だった。林道を12キロ歩いて、夕刻修行場入り。「前鬼」には、お堂などの他に宿泊所もあり、一般の登山者も利用するという。参加者の点呼や拝礼、そして「鬘伽汲みの先達」「小木の先達」が、儀式用の水（香精水）と小木を調達し、いよいよ秘儀は核心へ。受法者は不動明王の呪文を唱えながら待機、

そして順番に「八葉所」に入る。ここから上は、一般人は立ち入り禁止だ。受法者はまず「白門道場」で不動明王の前に懺悔し、さらに手ぬぐいで目隠しされ、「灌頂道場」へ入る。目隠しを取られると、正面に大阿闍梨（門跡）が座し、説教の後、「秘密の印明」を授け、頭に香精水が注がれるらしい。受法者は五体投地の礼をして下がり、証状等を受け取り、前述したように感激の面持ちで大護摩に臨んで秘儀は終わるわけである。

今回の深仙灌頂は、役行者の没後1300年を前に行われたが、今回は増誉の没後900年、つまり平成27年前後になるらしい。聖護院門跡執事長の宮城泰年さん（66）は言う。「21世紀、修験宗教を志すものは男女問わず、大峰山山上ヶ岳（現状は女人禁制）に参れるようにしたい。人間がこれからの科学社会に生きていくには、本来人間が持っている動物的な感覚を研ぎ澄ます修験道の修行が有用になるはずです」

PHOTO 藤田庄市



灌頂道場の様子



徹夜の儀式を終え「役行者」の血脈に連なった参加者たち



目隠しされ清